

家庭数 校長室だより（児童数 737名）



# 夢に向かってまっすぐに

平成30年9月5日（No.11）



## 涼風が曲がりくねって来たりけり

（小林一茶）

猛暑、酷暑を通り越して「命に関わる暑さ」という、今年の夏を形容する言葉に驚かされた皆様も多かったのではないのでしょうか。夏の風物詩でもあるプール開放を、暑さのために中止せざるを得ない日もありました。不測の事態に対応できる危機意識を持って物事を判断することが大切であると、改めて認識を深くした夏でもありました。炎天下でプール当番にあたってくださった皆様、本当にありがとうございました。またPTA本部の皆様は、プールサイドへの水筒持ち込みなど、子供たちの安全を最優先に考えた対応をしてくださいました。おかげさまで、無事にプール開放を終えることができました。ありがとうございました。

さて、夏休み中もそれぞれの目標に向かって努力している子供たちの姿に、心を動かされる機会がありました。早朝から大きな声を掛け合ってパス回しをするサッカー少年団の子供たちや、創立40周年記念大会に臨んだ少年野球チームの子供たち。そして、宮城県吹奏楽コンクールに臨んだひまわり吹奏楽団…。その一瞬一瞬に集中して臨む子供たちを見て、頼もしさを感じ元気をもらうことができました。多くのトップアスリートが「努力は決して裏切らない」という名言を語っています。「努力を続けられることも才能」…そんな子供たちの姿を支えられる教師でありたいと思います。

この夏の暑さも一段落。子供たちの笑顔とともに、涼風が訪れてくれました。台風の動きは気になるところですが、これから秋口にかけて気候も心地良さを増してきます。ご家庭の皆様と一緒に、子供たちの今の姿を見取りながら、子供自身が成長を実感できるよう指導していきたいと思ひます。今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。



▲ ひまわりは夏の暑さにも負けず

## 学びの場になっています！「向陽台夏まつり」

夏休み中に行われた「向陽台夏まつり」。今年も大盛況でした。17時の開会式には、すでに多くの皆様がおいでになっていました。卒業生や浴衣姿で訪れた子供たちもおり、思い思いに夏休みの日を楽しみました。子供たちにとっては、



▲ 力強い演舞に大きな拍手！

地域の夏祭りに訪れることで、皆様から声を掛けていただいたり、挨拶や言葉を交わしたりしながら、地域の一員なのだという気持ちを持ち、社会性を身に付けることにつながります。さらに、今年も6年生の子供たち（有志）に、「向小ソーラン2018」を披露する機会をいただきました。力強い演舞に大きな拍手をいただいたことは、子供たちの自信につながっています。少し大ききかもしませんが、学校を会場に地域の皆様が集い活気づく

ということは、学校が安心・安全な明るい地域コミュニティの形成にも一役買っていることになるのだと思っています。”学校は地域に浮かぶ船”これからも地域の皆様とともに学校経営を考えていきたいと思ひます。実行委員会ははじめ、運営に携わった皆様から感謝申し上げます。

## 作る・繋ぐ・紡ぐ

子供たちが一羽一羽に心を込めて作った折り鶴を、夏休み前の蒸し暑さの中、保護者ボランティアの皆様にも、一本の糸で繋ぎ合わせていただきました。各校で繋いだ折り鶴が、今年も市内中心部のアーケード街の一角を彩りました。震災から7年以上経過しましたが、仙台市内すべての学校の復興への願いや未来への希望、そして当時いただいた支援への感謝の気持ちを紡いだ七夕飾りとなりました。大きな七夕飾りを見上げながら、一人一人の力が合わされば、こんなに大きなこともできるのだと感じさせられました。これからも活動の意味を子供たちに伝えながら、「自分にできることをする子を育てる＝きらきら行動」を合い言葉に、取り組んでいきたいと思ひます。



▲ 一人一人の思いを紡いだ吹き流し

## やはらかき母にぶつかる蚊帳の中（今井 聖）

この夏、ご家族で楽しい思い出がたくさんできたでしょうか。どうにも忙しく、思っていることの半分もしてあげられなかった…という方もいらっしゃるかもしれません。でも、どこかに出かけることだけが思い出ではありません。大人になって、子供の頃の記憶がふっとよみがえってくる瞬間が皆様にもあると思ひます。その時の心温まる記憶こそ、親の愛を感じるよき思い出と言えるのかもしれませんが。普段、何気なく過ごす時間も大切にしたいものです。